

現場で耳より発掘情報

能代河川国道事務所
第2号
2020.10.8

道路の下の世界 ~ ICT施工を体感!! ~ in脇神地区舗装工事 (北秋田市)



下層路盤とは...?

普段、私たちが歩いている舗装路面から20cmほど下の部分で、一般的に、砕石を使用し30cm前後の厚さがあります。

今回訪れた現場では下層路盤の工事の真っ最中!!

ICT(情報通信技術)を活用しモーターグレーダーでICT施工されていました。今までは路盤(砕石)の厚さは人の手で計りながら施工していましたが、ICT施工では機械が自動で厚さ管理をしてくれるので少人数化や施工のスピードアップが見込まれるそうです。

レーザー光を照射
レーザー光を反射

①自動追尾トータルステーション

②全周プリズム

③排土板

これがモーターグレーダーです!

どうして自動で厚さ管理ができるの?

①の機械と②のアンテナの間でレーザー光を照射・反射してモーターグレーダーの位置を特定!
③の排土板が自動で厚さを調整します。

現場ではたくさんの方が作業にあたっています

完成が楽しみです! 😊

世界遺産登録まであと少し!!
伊勢堂岱遺跡

現場近くには、来年の世界文化遺産登録を目指す「伊勢堂岱遺跡」があります。地元の世界遺産を登録前に訪れてみてはいかがでしょうか?(写真は遺跡の概要を展示している縄文館です→)

編集後記

当たり前にある道路ですがこんな風にできていたとは知りませんでした...! 普段なら見ることがないので貴重な体験でした。完成後、車で通るのがますます楽しみになりました! 😊

国土交通省 東北地方整備局
能代河川国道事務所
〒016-0121 能代市鹹瀨字一本柳97-1
TEL: 0185-70-1001 (代)

事務所HP
事務所 Twitter
事務所 Facebook